

# TAMC

会 報

令和4年10月号

Bulletin of the Tokyo Amateur Magicians Club

Oct 2022

## 主要内容 (令和4年9月)

- 第1例会： 9月 1日 (木) 18:00~20:00 田中田村町ビル5階 5C 会議室  
会員発表：森田 晃 君 高橋 哲夫 君 村上 日出夫 君 氣賀 康夫 君
- 第2例会： 9月 15日 (木) 18:00~20:00 田中田村町ビル5階 5C 会議室  
会員発表：森田 晃 君 長田 誠彦 君 田澤 利明 君 濱谷 堅蔵 君
- 土曜研修会：9月 10日 (土) 13:30~17:00 電巧社本社ビル M-Theater  
・「Slydini's Torn and Restored Newspaper」 講 師： 氣賀 康夫 君



電巧社ヘッドオフィス M-Theater での研修会 (2022年9月10日)

## 令和4年(2022)11月の活動予定

- 第一例会： 祝日のため休会
- 第二例会： 11月 17日 (木) 18:00 ~ 20:00 (田中田村町ビル貸会議室 5C)
- 土曜研修会： 11月 12日 (土) 13:30 ~ 17:00 (永福和泉地域区民センター)

## 令和4年(2022年)9月の活動記録

### ◆第1例会 9月1日(木) 18:00~20:00

司会：牧原 俊幸 記録：柏木 直也 出席 33名  
(会場参加 26名+ZOOM 7名)

2022年9月1日(木)例会のLIVE記録

<https://youtu.be/rCTyGx0gqZA>



#### 1. 会員発表

森田 晃 君	「MMTP出品用具の紹介」	P.3
高橋 哲夫 君	「渋谷慶太マジックショーに参加して1」	P.7
村上 日出夫 君	「渋谷慶太マジックショーに参加して2」	P.8
氣賀 康夫 君	「ポケットに通うカード」	P.11

#### 2. 連絡報告事項

- ・柏木 直也 研修企画・運営副委員長 より  
9月10日開催予定の土曜研修会の連絡と、出席希望者の確認を行った。
- ・村上 日出夫 大会委員長 より  
秋の大会の入場券の配布について。

### ◆第2例会 9月15日(木) 18:00~20:00

司会：高橋 忠利 記録：柏木 直也 出席 29名  
(会場参加 19名+ZOOM 10名)

2022年9月15日(木)例会のLIVE記録

<https://youtu.be/itZKKORm0Jo>



#### 1. 会員発表

森田 晃 君	「MMTP出品用具の紹介」	P.12
長田 誠彦 君	「近況報告とマジック」	P.16
田澤 利明 君	「会員の平均年齢・在籍年数とマジック紹介」	P.21
濱谷 堅蔵 君	「島田晴夫氏の思い出」	P.25

## 2. 連絡報告事項

・村上 日出夫 大会委員長 より

9月25日(日)午前10時よりに久我山会館にて秋の大会のリハーサルを開催予定であることが報告された。

◆ 土曜研修会 9月10日(土) 13:30~17:00  
電巧社ヘッドオフィス M-Theater 出席者 19名  
「スライディニの復活する新聞紙」 講師 : 氣賀 康夫 君  
P.29

◆ ボランティア出演報告 高橋 哲夫 ボランティア委員長 P.32

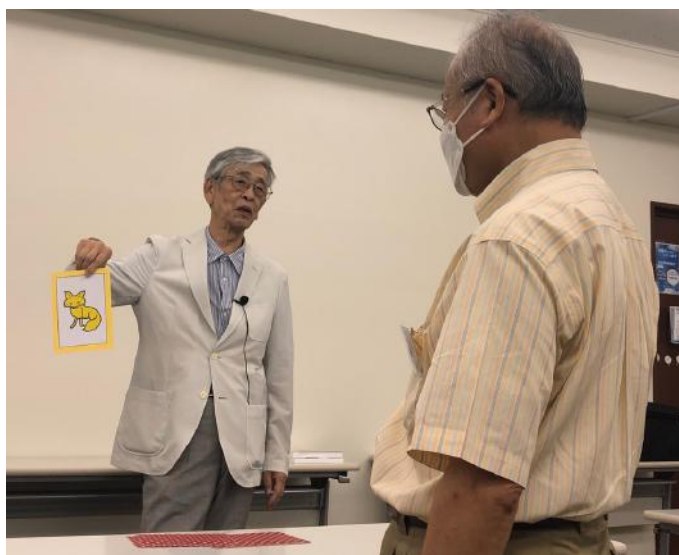
## 会員の発表

## 第一例会

◆ 「MMTP 出品用具の紹介」 森田 晃 君

今回も森田の作品を幾つか紹介した。これまでの発表に比べてやや小ぶりなので、前に近寄って見て貰うなり、WEB映像を見て貰うなりした。

発表したものは全て9月末の第12回MMTPに出品予定である。



### 01. (A17-06) 「アニマルカードの不思議」

前回 上手く紹介できなかったので、既に現在開催中の第11回MMTPに出品してあるが、もう1度紹介する。

5種類の動物のカードの中から客が密かに選んだ動物を、カードをシャフルしたあとで演者が当てる。

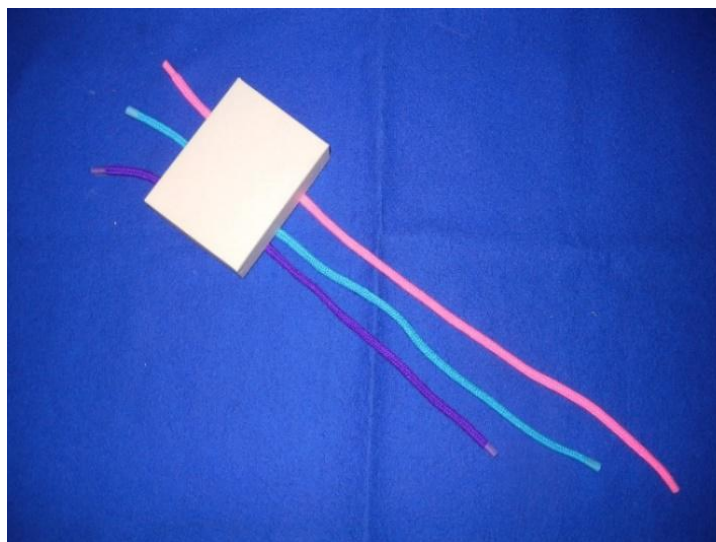
セオ商品(1430円)を真似て自作したものである。



## 02. (A16-05) 「カラフル・ナイトメア」

箱の中から長さの異なる長（桃色）、中（空色）、短（紺色）3色3本のロープを取り出す。これを3本左手に一緒に持って其々を2つ折りにし、折った3端を右手で引くと3本が同じ長さになる。更に同じ長さになった3本を箱に戻してハンカチを被せると、3本のロープが1本に繋がって出て来る。

長さと色が異なる長（桃色）、中（空色）、短（紺色）3色3本のロープで行う「1本どっこ」の現象で、セオの商品を真似て作った。



## 03. (A01-32) これで「おしゅうまい」

何もない手の中に小さな青い玉とティッシュを握って、その手をライターで炙ると、手の中からシューマイが現れる。そこで「これで おしゅうまい（おしまい）」と云って、その日の演技を終える

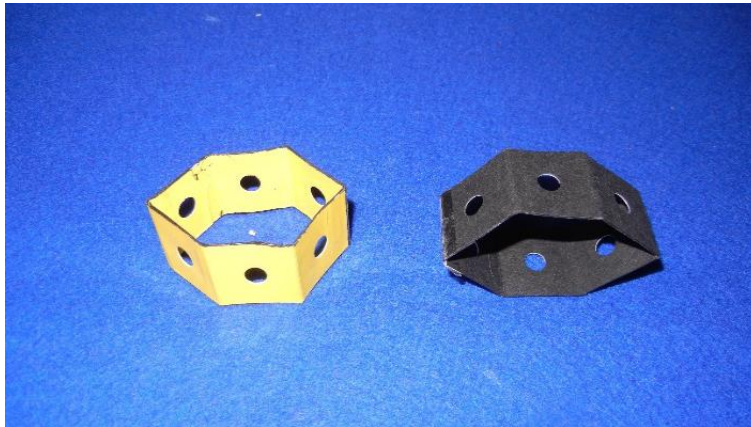
オチのマジック。平成10年頃に升田さんが例会で発表したもの。





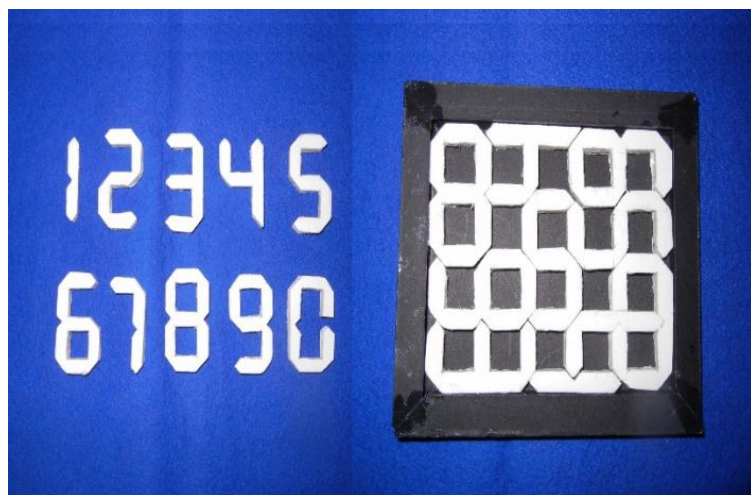
#### 04. (A16-42) マジカル・ヘキサゴン

黒と黄の六角形の輪が1つずつあって、それを左右の手に1つずつ握ってオマジナイを掛けると2つが入れ替わる。セオ商品を真似て工作したもの。



#### 05. (A16-01) ナンバーパズル

0から8までの数字のブロックを枠の中に並べると綺麗な格子状になる。セオ商品を真似て工作した。



#### 06. (A01-30) 交通信号カード

赤、黄、青のシールが貼られたカードから何も貼られていないカードに、赤いシールが飛び移る。

平成12年の例会で発表されて当時流行ったもの。



#### 07. (A15-26) 3色の封筒とカード

演者の予言のカードが入れてある赤、黄、青3色の封筒の上に、客が赤、黄、青のカードを任意に1枚ずつ置くと、封筒と予言のカードと客のカードは見事に調和する。小岩奇術愛好会の作品。



以上

マジックのレパトリーが少なく、会員発表は誕生日だけ対応させてもらおうと考えていました。しかし、以下の次第で会員発表となりました。

8月23日に田澤さんのお誘いで高井戸マジックサークルの渋谷慶太さんのマジックショーに参加しました。田澤さん、村上さんと反省会をしているところに梶田さんから9月第一例会の会員発表者を探しているとの電話が入り、マジックアイテムを色々購入していたことから発表を受けてしまいました。それなりに馴染みのあるマジックですが、きちんと演技するには練習が必要で、練習不足での会員発表となってしまい、反省しています。

さて前置きが長くなりましたが、演技の順番(ショップの商品名を使用)として、

### 1、オープニング用紅白ストリーマーとケーン：

金属のアピケンで、一回荷解きしましたが、習熟するまでに時間かかりそうだったので今回は省略としました。

### 2、ジュース変化ボード：

初心者向きのジュースの色がオレンジ・いちご・メロン・コーラに代わるものでオープニングの観客の注意を引くには使えると理解しました。

### 3、紅白ブレンドシートダブル：

赤と白の紙を見せて、それを縦に振ると縦縞になり、更に横に振ると格子になるというもので、面白いアイデアと思い購入しました。





#### 4、消耗しない・新一万円札シートの復活：

2024年に新札が発行されることより、新札関係のマジックも面白いと考えバラバラの札が大きな一枚になるというものです。単純なマジックですが、暫くはインパクトのあるマジックになりそうです。

2020年に新札発行が発表された際、裏返しチューブを千円と一万円で作りましたので、時間をみて再度製作予定です。

#### 5、白くまちゃん 黒くまちゃん：

黒熊と白熊のシートを見せて合わせるとパンダになるというものです。

かつて黒馬と白馬を重ねてシマウマを出すというマジックを思い出しました。

最近やっているトラップドア形式でも面白いと考えて、黒熊と白熊と表と裏にしてドアをつけて、ドアをつけて黒熊と白熊を行き帰りして、物足りないということでパンダを出すという風にしてみました。

渋谷さんより、マジックを披露する際には全体を起承転結で考えて、まず「起」で出だしのマジックで観客お注意を引き付けて、「承転」で盛り上げて、「結」でマジックを締めくくるといった流れを考えることが必要と説明があり、今後ボランティアで出演するにあたり、演技の構成を考えていこうと思いました。

---

### ◆ 渋谷慶太さんのマジックショーに参加して Part 2 村上 日出夫 君

#### はじめに

去る8月23日に渋谷慶太さんのマジックショーを見に行ってきました。その中から、最も興味を持ったものの中から、2点選んで例会で紹介しました。

また、今回のお土産マジックは、「TAMC水族館」に決まりましたので、それを紹介しました。

#### 1) サムチップを使ったカメレオンシルク

<演技内容>

赤いシルクと白いシルクを取り出します。その赤白のシルクを左手で握った孔の中に右指で上からゆっくりと押し込んでいきます。少し入れていき、握った左手の下から、紅白のノベシルクを出していきます。（写真1）入れた分だけ徐々に出していき、やがて全部赤白のシルクは、左手の中を通すとノベシルク（写真2）に変わってしまいます。

最後に左手を広げると何も持ってないことを観客にしめします。





<解説>

このマジックは、すでにご存知のカメレオンシルクと同じ演技です。

ただ違うのは、サムチップを使っています。サムチップの先端に孔があいており、そこを通して行います。（写真3）

この方法で行うと、簡単にカメレオンマジックを演ずることが出来ます。まず、サムチップの中に、紅白のノベシルクを入れておきます。その場合、後でノベシルクを取り出しやすい様にサムチップを通して5センチ位先端から出しておきます。（写真4）



全部、サムチップにノベシルクを収納したら、先端から出ているノベシルクをサムチップに押し込みます。こうしておくと、出すときに出しやすくなります。

演技は、最初、サムチップを右の親指にはめて、両手をあらためて、赤と白のシルクを見せながら、サムチップを右手から左手に移して行います。

## 2) ワインの色変わりマジック

<マジック内容>

赤色のワイングラスが描かれているボード（A4サイズ）を持って術者が登場します。

「これは、なんですか」とお客様に話しかけると「赤ワイン」ですと答えます。

「不思議なことがこれからおきます。」

「私の背中を通すと赤ワインがどうなりますか？やってみましょう」と言って術者は、自分の後ろを通すとワインの色が変わり、白ワインの絵になってます。すると観客から「引っ繰り返してるでしょう」の声がかかります。

そこで、術者は、「わかりました。引っ繰り返しましょう」と言って、このボードを正面で、おもむろに天と地を引っ繰り返しました。インチキの声があがったりする。（笑）もちろん白ワインのままです。

すると「裏返して欲しい」との声がかかります。

「わかりました。私の背中を通さないで裏返しますよ。何色のワインになりますか」

すると観客は、「赤ワインです」と言うでしょう。

それでは、「裏返します」と言って裏返すと青色のワインの絵になっています。

更に裏返すと白ワインでなく、緑ワインの絵になってます。



これで終わりです。

このマジックは、誰でも簡単にできるマジックで、術者の話術が重要です。

つかみには、良いマジックと思います。どうなっているかは、考えてみて下さい。

## 3) お土産マジック（TAMC水族館）の紹介

このお土産マジックは、氣賀さんが考えていただいたマジックで、非常にシンプルで面白いマジックと思います。

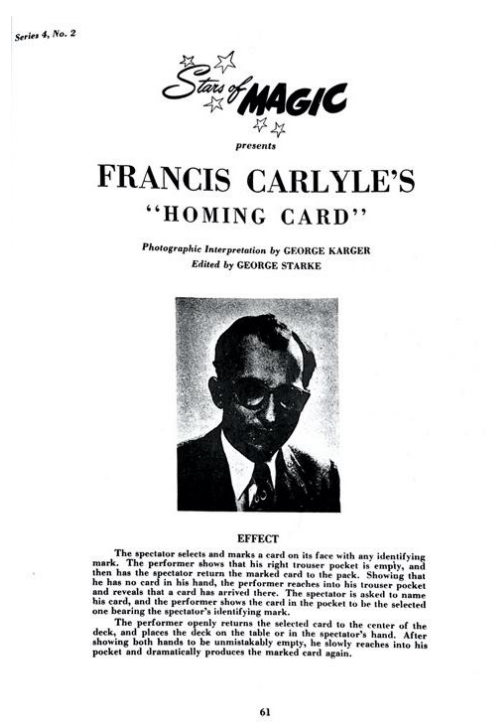
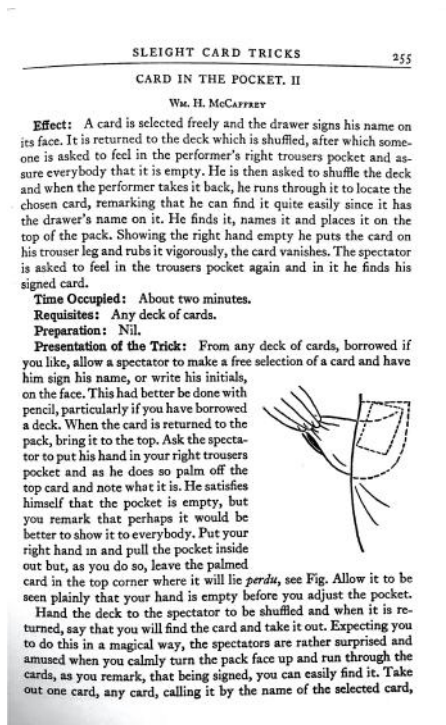
例会では、このカード両面をそれぞれ拡大してホワイトボードに貼り付けて、長田さんにお手伝いをお願いして説明しました。

マジックの内容については、巻末に解説書を掲載いたしました。

◆「ポケットに通うカード」

氣賀 康夫 君

1938年にMcCaffreyが『The Greater Magic Library』に掲載した「Card in the Pocket II」という奇術を、戦後にFrancis Carlyleが改良して「Homing Card」として『Stars of Magic』に掲載したものに、さらに氣賀さんが独自のアイデアを追加された手順を演じられました。詳細なレクチャーノートをご投稿いただきましたので、巻末に掲載いたします。ご参照ください。



『The Greater Magic Library』

『Stars of Magic』





◆MMTP 出品用具の紹介

森田 晃 君

今回も森田の作品を幾つか紹介した。

前回同様、これまでの品に比べて やや小ぶりなので、前に近寄って見て貰うなり、WEB 映像を見て貰うなりした。何れも9月末のMMTP に出品予定である。

01. (A16-10) ピラミッド、パワー

4 面体の各面にハンカチを掛ける度に、各面に描かれた白い円が赤になったり、白に戻ったりする。

観客は2面が白で2面が赤の4面体を見せられていると思うが、最後に各面が複数の円になる。

セオ商品を真似て工作した。



02. (A16-29) ダイス逃げやすいだ

四角い筒にダイスを入れるが、筒を逆さにするとダイスは落ちて来る。そして筒に空いた穴とダイスの穴を外からウオンドで縫って、筒を逆さにしてもダイスは落ちて来ないようにするが、気合を入れるとダイスが筒から落ちて来る。 セオ商品を真似て工作した。





### 03. (A16-02) Son & Daughter

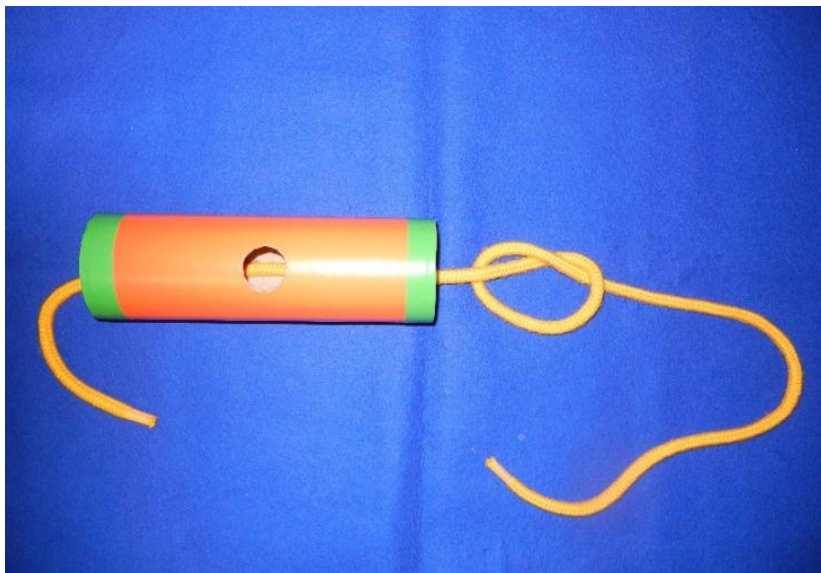
客にデッキから1枚のカードを選んで貰って、そのカードを予言しておいた箱を取り出す。箱の中には4 X 4に並べた意味の分からない図柄のブロックがあるが、ヒンジで繋がれた4 X 4のブロックを組み立て直すと図柄は「ハートのQueen」になって、客が選んだカードと一致する。

セオ商品を真似て工作した。



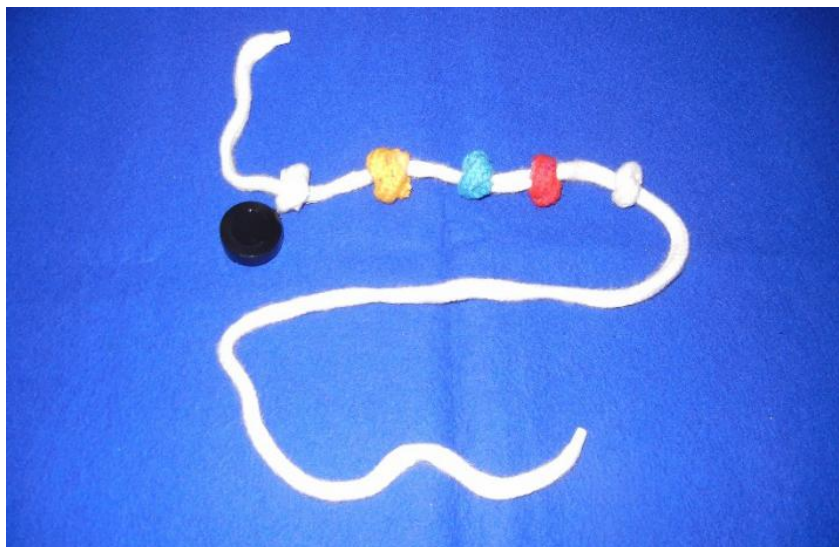
### 04. (A01-17) 筒の中で解ける結び目

ロープに結び目を作って筒に入れると、オマジナイをするだけで結び目が解けてしまう。平成18年にMr. マリックがTVで演じたマジックである。



### 05. (A09-28) 交通信号ロープ

白いロープに結び目1つ作って、それを手で擦ると赤に変わり、黄に変わり、青に変わる。幼稚園生の子供会用に作られたもので、平成27年の研修会で高橋忠利さんが「しょうじ・たかひと」の作品として紹介したものの。



### 06. (K03-07) 不思議な壺

客には寝かすことが出来ない小さな壺を、演者が底を優しく擦るだけで横に寝かせることが出来る。

昭和55年頃に新年会お土産として配られたものだが、TAMCでは誰も「不思議な壺」とは呼ばずに「処女徳利」と呼んでいた。



### 07. (A16-34) わらしべ長者

裏と表に「日本昔話」の本の表紙の絵を描いたカード11枚に、「わらしべ長者」の話をしながら次々と物語の絵を現わす。

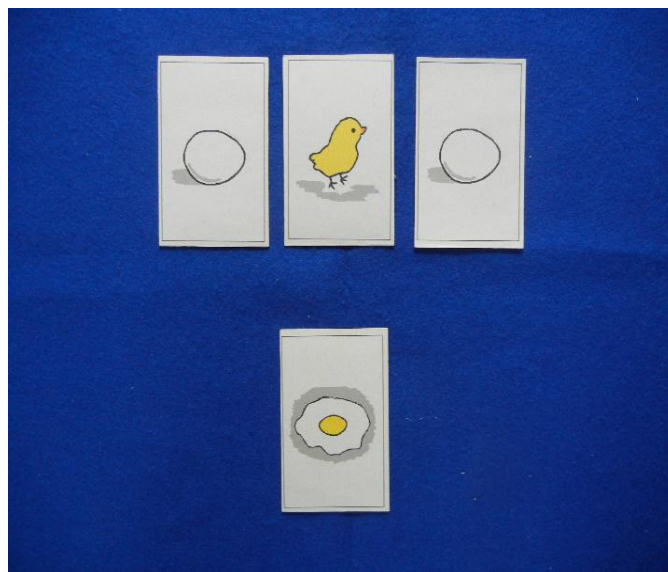
令和2年暮れの懸賞に森田が応募した作品。



### 08. (A01-29) ピヨピヨピヨ

3枚の玉子のカードのうちの1枚を客に選ばせて、両手に挟んでピヨピヨピヨと唱えて貰うと、玉子がヒヨコになる。玉子のカードを追加して、もう1度同じことを行うと今度は玉子が玉子焼きになる。

これも令和2年暮れの懸賞に応募した作品。



以 上

A. 「フィンガースナップカード」

1. 導入

TAMCの皆様は、マジックをよくご存知であり、マジックを楽しんで頂けるのですが、マジックをやっていると色々な事を言われます。お客様によっては、トランプマジックをすると、例えば、裏側に「印」が付いていて、それで「何のトランプ」だか分かるのではないか言う人もいます。

というわけで、今日は、クレームがつかないマジックを考えてみました。

準備：キング4枚だけを向きを反対にしてトランプのボトムにセットして、箱に入れておく。

箱からトランプを取り出す際は、トランプを斜めにして、お客様から「キングの向きが反対」になっている事が見えない様にする。

導入部を喋りながら、トランプをシャッフルする。一番下のキング4枚は動かさない。

2-1. 演技

1) ここにハンカチがあります。このハンカチを、トランプの上に掛けてしまいます。

2) お客様にハンカチの中に手を入れて貰い、トランプを上から半分位を持ち上げて貰います。

3) お客様が持っているトランプをハンカチの外に出して貰います。

そのトランプはもう使いませんので、テーブルの隅に置いて貰います。

準備：ハンカチを直す振りをして、ハンカチの中でトランプを裏返しにする。

キング4枚が一番上にくる。

4) お客様にもう一度ハンカチの中に手を入れて、一番上のカード（キング）を取って貰います。

5) 私が後ろを向き、私に見えないようにして、お客様より皆さんにカードを見せて貰います。

6) 皆さんが選んだカードを確認したら、私からハンカチでカードが見えないようにしながら、ハンカチの中のトランプの真ん中に選んだカードを入れる。

7) お客様に見えない様にハンカチを待ち上げながら、トランプを出す際に、トランプ全体を反対にする。キング3枚が一番下にくる。

2-2. 演技

1) 今までの演技を振り返る。



お客様に、ハンカチの中でトランプの上半部を取り除いて貰い、カードを1枚選んで貰い、私自身でカードが見えない様にしながら、お客さんの選んだカードを残ったトランプの真ん中辺りに入れました。

私は選んだカードの表の模様を見ること出来ませんでしたよね。

この状態でカードを当てるのは、マジシャンでもすごく難しいです。

2) 「でも今日は非常に簡単に当てて見せます」と言いながら、指を一回鳴してみます。

3) カードを1枚つつスプレッドしながらめくる。(その際に一番下のキングは見せない様に注意)

4) お客様が選んだカード(キング)が表面で出てきたらこれですか言って、右手に置く。

お客さんが驚く。



準備：右手のカード(上は表面キング)に左手のカードを裏向き(そのまま)乗せる。(キング4枚が表向きで重なっている状態)

### 2-3. 演技

1) 「もっと不思議なことお見せします」と言う。

2) カードをテーブルに置いて、ハンカチを掛けて、今度は指を2回鳴らす。

3) ハンカチを持ち上げて、スプレッドで見せるとキング4枚だけが表向きになっている。

(全員に見せる様にすること)



クロージング：キング4枚以外は、全て裏になっていることを見せる。

## B. 「名前を呼ぶカード」

準備：自分でシャッフルした後、お客様にもシャッフルしてもらう。

トランプの一番下のカードを覚える。

テーブルの上にトランプを拡げる。

### 1. 導入

今度は自由に好きなところからカードを選んでください。真ん中から選ぶ人もいますし、端の方から選ぶ人もいます。一番端っこですと私が覚え易いので止めた方が良いでしょう、どうしても選びたいのであれば端から選んでも結構です。

### 2-1. 演技

- 1) お客様に1枚カードを選んで貰い、私に見えないように皆さんに見て覚えて貰う。
- 2) トランプを整えて、上半分をテーブルの上に置いて、その上にお客様が選んだカードを裏向きで置いて貰います。
- 3) その上に残り半分を置く。

トランプの一番の下のカードの下にお客様が選んだカードがくる。

### 2-2. 演技

- 1) 私はお客様が選んだカードは分かりませんが、だいたいどこら辺りに選んだカードがあるか分かります。

2) 其れ故に、これをカットします。こういう風にカットをすると順番が入れ替わって、だんだんどこにあるのか分かり難くなります。お客様にもカットして貰います。

### 2-3. 演技

1) 手元でトランプを拡げ、お客様が選んだカードを探す。一番下のカードの右隣が、お客様が選んだカードになっている。

2) 選んだカードを言葉にして、頭の中で枚数を数えて、その枚数より左側の全てのカードを右側に移動する。(例えば：「ダイヤの5」の場合は5枚)

### 2-4. 演技

1) トランプを眺めながら、「わかりました。」と言う。

2) 「お客様の選んだカードが分かったのではなく、カードの当て方がわかりました。本当のこと言うと、私は当てることができないのです。

このトランプには不思議な力があって、トランプが勝手に当たってくれるのです。」

3) 「ちょっとやってみましょうか。ずるいですけど、お客様の選んだカードは何でしょうか？」例) ダイヤの5。

4) 「すごく優秀なカードなのですよ、では、ちょっと呼び出してみしましょう。「だいやの5」と言いながら1枚ずつ捲る。例) 6枚目が「ダイヤの5」になっている。

クロージング：トランプを表面でスプレットしてばらばらであることを示して終わる。

## C. 「マグネチックカラーカード」

### 1. 導入

1) トランプのマークにはそれぞれ意味があります。

2) 4つのマークを並べながら、マークの各々の意味に説明する。

①ハートはすごく有名ですよ、愛とか愛情ですとか。

心臓という言う人もいますが違います。ハートという英語と発音が似ているからです。

②スペードは、リーダーを意味しています。リーダーシップです。

③ダイヤは、お金、ダイヤモンド、財産です、

④あとクラブは知性です。

3) 色は2色あります。赤と黒。マークが4つあるので、4つあってもいいですね。

なぜ2色だけ？そうですね。いろんな説があって、例えば「太陽と月」を表しているという説もあれば、「暖かい季節と寒い季節」を表現しているという説もあります。

もうひとつは「男性と女性」を表しているという説もあります。

面白いのはですね、この二つの色が引き合うと言う説です。

4) 引き合うとはどういうことか、やってみましょう。

## 2-1. 演技

- 1) 赤マークのカード5枚、黒マークのカードを5枚選ぶ  
( (赤マーク5枚、黒マーク5枚と順番に並べて) 手で持つ。順番が逆でOK)
- 2) ここに、10枚カードがあります。ちょっと混ぜます。  
(混ぜる際はフォールスシャフルを行います、カットは不可)

## 2-2. 演技

- 1) 10枚のトランプを裏面でスプレッドする。(お客様はカードの絵柄は見えない)
- 2) この10枚の中から、5枚選んでください。これがいいとか指を指してください。  
(お客様が選んだカードを褒めること。例) 良いところを選びましたね。あと4枚。今のも良いですね。なかなか良いですね。)
- 3) 選んだカードは分かるよう(ハミ出す)にする。ハミ出たカードが選ばれたカードです。  
(選ばれたカードの一番左が、5枚の一番下にくるようにする。)
- 4) ちゃんと5枚あるかどうか数えてみます。  
(数えることで、お客様が選んだカード5枚の並ぶ順番が上下逆になる。)
- 5) 私が1枚置きますので、お客様はそのカードの上から一枚重ねてください。  
(2枚のカードのペアが5つできることになる)
- 6) 開けてみましょう。さっき言ったみたいに赤いマークと黒いマークが引き合ってるのがわかります。  
もしかしたら偶然かもしれない。やっぱり赤と黒。これもすごいよ。5つのペアが全て赤と黒になる。

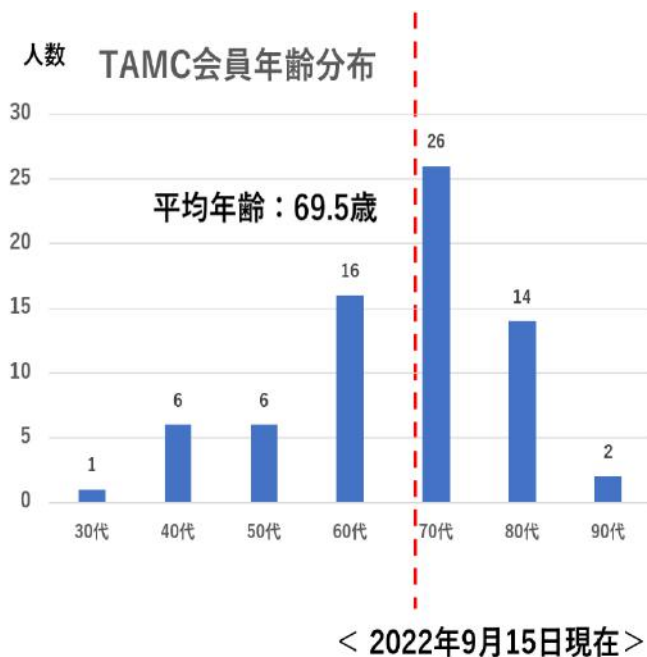
クロージング：私が凄いじゃなくて、あのマグネティックカラーと言う名前の通り、この色自体に不思議な力があります。





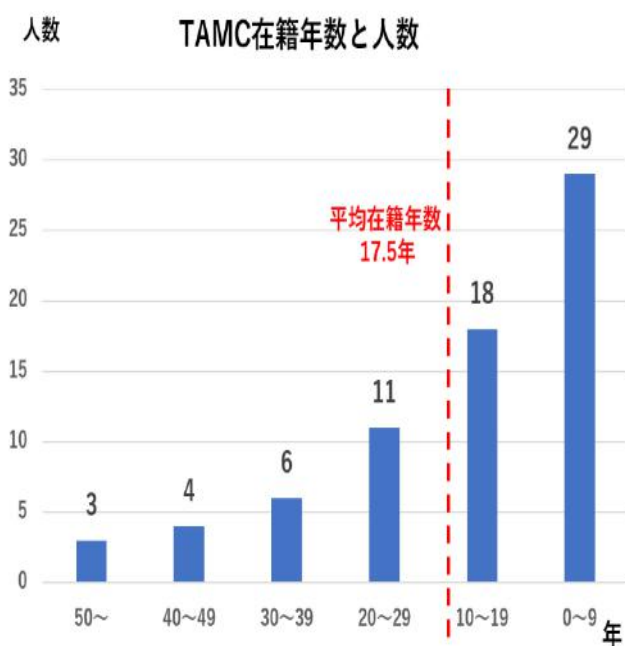
## 1. TAMC[会員の平均年齢と平均在籍年数]の現状

最近、多くのマジッククラブで若い人の入会が少なく、会員の平均年齢が70歳と高齢化している話を最近よく耳にします。ではTAMCの平均年齢は何歳だろうか？また、コロナ禍のこの2年間で、阿部隆彦さん、都築幹彦さん、小永井暹さんの超ベテラン会員が亡くなられて、会員の在籍年数の状況はどうなっているだろう？という疑問を持ち、会員名簿からデータ化しました。考察なしで事実だけを以下に掲載します。



名前	年齢	年齢は本日現在	
		入会年	在籍年数
川崎 利秋	97	1962	60
大原 希是	91	1982	40
内田 春樹	89	2005	17
山本 玄一	88	1974	48
田中 雅康	87	2018	4
氣賀 康夫	85	1990	32
出水 博造	83	1997	25
板橋 邦夫	83	2014	8
高橋 忠利	83	1962	60

武井 聡	50	2004	18
三船 展影	46	2018	4
山口尚孝	45	2019	3
大坪 克行	45	2017	5
平山祐貴	45	2019	3
山岸 弘二	42	2017	5
早川 真人	41	2017	5
倉持 賢一	39	2014	8



名前	年齢	年齢は本日現在	
		入会年	在籍年数
川崎 利秋	97	1962	60
高橋 忠利	83	1962	60
青木 弘光	79	1965	57
山本 玄一	88	1974	48
松本 公一	75	1978	44
柳川 幸重	77	1981	41
大原 希是	91	1982	40
土屋 理義	76	1984	38
田澤 利明	82	1985	37

柏木直也	62	2018	4
三船 展影	46	2018	4
玉木 茂	72	2019	3
山口尚孝	45	2019	3
平山祐貴	45	2019	3
矢澤 潤	58	2022	0
脇山 太介	56	2022	0

## 2. お客様の予知能力を見るマジック

先日、マジックファンタジアというショップで、故スピリット百瀬師を偲ぶマジックショー（能勢裕里江さん出演）を観覧した時に、渋谷慶太氏がレクチャーされたマジックが本日紹介するものです。インパクトがあり簡単で且つ広く応用が効くとおもいます。

### 1) 現象

- ① 「赤色の一組の新しいカードを持ってきました。」と言いながら赤色のカードケースからカード一組をとりだし、扇状に広げながら、「ご覧の通り、新しいカードですから数字と模様が順番にきれいにそろっています。裏側は、赤いカードです。」

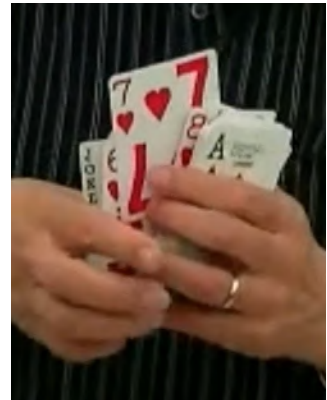


- ② 「実は、一組のこの54枚の赤裏のカードの中で、1枚のカードだけを事前に青いカードと差し替えてきました。何のカードを差し替えたかをお客様に当てて頂こうというものです。これでお客様の予知能力があるかどうかわかります。」



- ③ カードにはハート・ダイヤ・スペード・クラブの4種類のカードがあり、それぞれ1から13までの数字のカードがあります。お客様の直感で1枚のカードを言ってください。」「ハートの7ですね。」

- ④ カードのフェイス面が客に見えるように扇状に広げ、端から順に1枚ずつ見ながらハートの7を探す。ハートの7を扇の上に半分程度突き出す。



- ⑤ デックを裏が客に見えるようにカードをそろえて持ち、ハートの7をデッキのTOPに重ねて、改めて「このカードは、あなたが直感で予知されたハートの7ですよ？」

- ⑥ 「ハートの7のカードの裏は、何と青色になっています。あなたの予知能力は素晴らしい！皆さん、このお客様に拍手を送りましょう！」残りのすべてのカードを裏向きにして扇状に開くか1枚ずつ、客に「ご覧の通り他のカードはすべて赤いカードです」と言って演技を終える。



## 2) 事前準備

赤裏のカード 54 枚（ジョーカー含む）を使う前提で解説します。

- ① 1 枚の両面バックカード（赤裏/青裏）を用意し、赤裏側の 4～5 か所に、「トンボ鉛筆 TOMBOWPT-MT 液体のり

『「ピットマルチ 2」』（剥がせる糊）を

数 mm 径の大きさに塗布

し、30 分～1 時間放置す

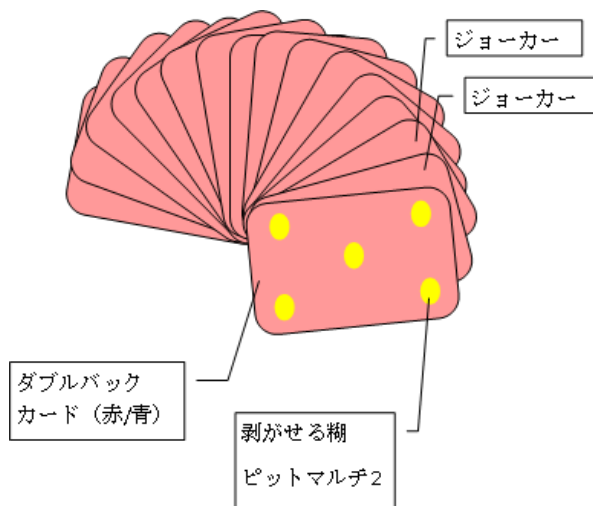
る。その結果、糊を塗布し

たカードの上に別のカード

を重ねて貼り付けても、も

う一度、ベリベリッと剥が

すことができるようになります。



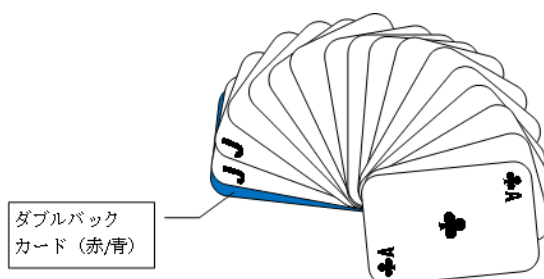
- ② 新しいカードと同じように 1～13（A～K あるいは K～A）にそろえた状態でトップに両面バックカード（糊のついた面がトップ側）を乗せ、その下にジョーカーを 2 枚入れてカードケースに入れておく。

## 3) 手順

- ① カードケースからカードデッキを取り出すときに、剥がれる糊がケースの内面に貼りついてダブルカード 1 枚だけ取り残すことがありますから注意してください。

- ② 2) 現象で説明したとおりに演じてください。

- ③ まず、客にカードのフェイス側が見えるように扇形に開き、このように新しいカードですからすべてのカードが順番にきれいにならなでいます。」裏側は、ちらっと赤いカードばかりですよという雰囲気ちらっと見せるにとどめる。

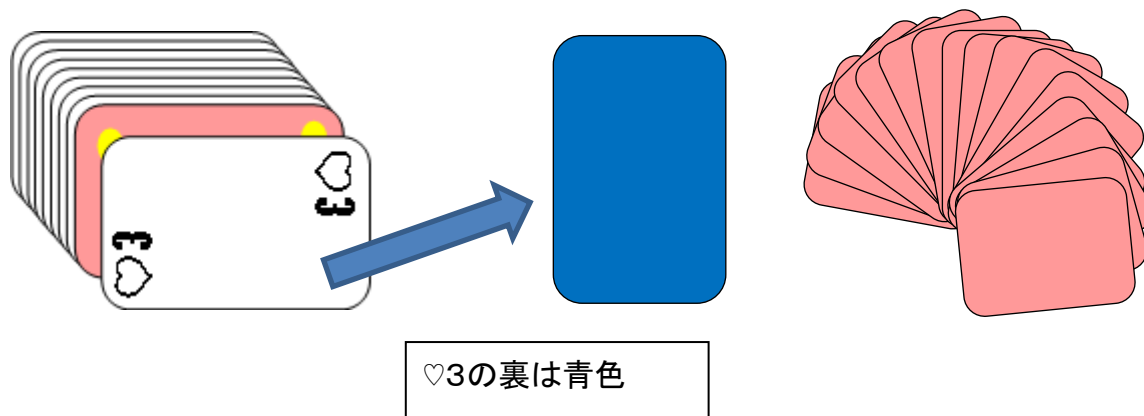
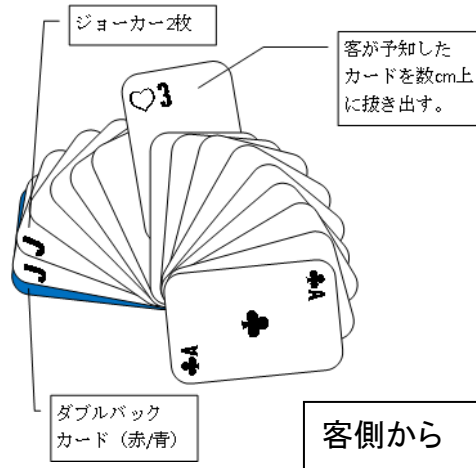


④ お客さんから直感で感じたカード「♥3」を言ってもらい、そのカードを表向きに開いたファンから探して、上部に突き出す。

⑤ 突き出したそのカード「♥3」の裏（赤）が客に絶対に見えないように持ち、残りのカードをそろえる。

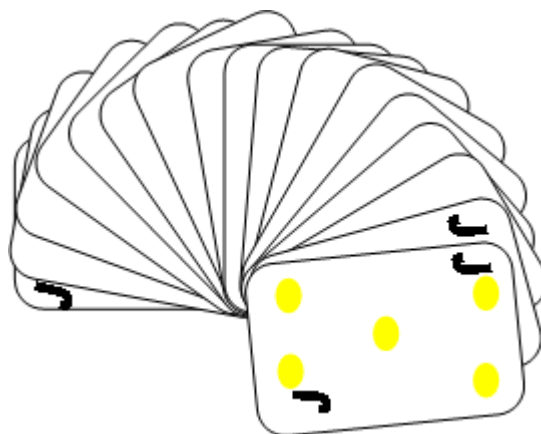
⑥ そろえ終わったら、裏向きになっているトップカード（糊付き）に客のカード「♥3」を表向けてそろえて乗せ、客に、「このカード「♥3」はあなたが言われたカードですね。」と言いながら指で2枚のカードが引っ付くように中央部を押す。

⑦ ゆっくりと2枚はりあわされたカードの裏を客に見せて、この1枚だけが青色都強調する。そして、「あなたの予知の雨量は素晴らしい！」と言いながらほかのカードの裏は赤色ということをしかり客に示して演技を終える。



#### 4) 補足

ここでは、両面バックカード（赤/青）を使用したか、赤色のデッキ54枚中2枚のジョーカーの1枚を青色に代え、剥がせる糊をつけてボトムにおけば、同じようにこのマジックを演じることができます。ただし仮に客からTOPカードの数字とマークを言われたときの対処が必要です。例えばTOPにもう一枚JOKERを置いておくなど。





## ◆「島田晴夫氏の思い出」

濱谷 堅蔵 君

本日は9月15日ですが、私は来週の9月22日で満77歳、つまりあと1週間で喜寿を迎える年齢になります。世界規模に広がった新型コロナのパンデミックの世の中になり、外出やイベントへの参加、知人友人との会合も制約される中、私は特にこれといって健康管理に気を使っているわけではありませんが、家族や気の合う仲間とのささやかな交流を楽しみながら、ストレスを溜めずに生活してきております。

さてマジックの話になりますが、私は小学生の頃から少年雑誌に載っている手品を覚えては友達に見せ、得意になっていました。

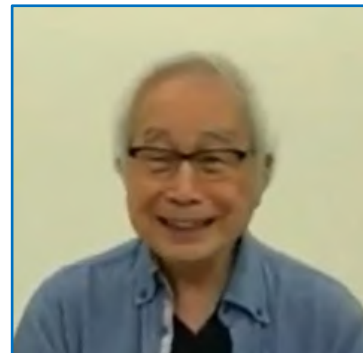
11歳（1957年）の夏でしたが、たまたま渋谷の東横デパート（現在の東急デパート）の手品売り場の前を通り、そこでお兄さんが見せてくれた赤い球が消えたり増えたりする手品「シカゴの四つ玉」を見て仰天。親にせがんで初めて買ってもらったマジックが「四つ玉」でした。

その売り場のお兄さんの名前は島田晴夫さん。この出会いが後の私の人生を左右するキッカケとなりました。島田さんがディーラーとして勤務していた渋谷東横の手品売り場を皮切りに、池袋三越、浅草松屋、銀座松屋など、島田さんが立つ売り場に押しかけてはマジックを見せてもらい、追っかけファンになっていたのです。

翌1958年の7月、三越劇場で第3回天洋アマチュア奇術大会があり、プロの部で島田晴夫さんが出演すると聞いたので見に行ったところ、衝撃的な「8つ玉」デビューを見て目を疑いました。自分の買った四つ玉とは異次元の現象が繰り広げられ最後は両手に8ケのボールが出現したのですからビックリです。



四つ玉のタネは知っていたものの、当時はビデオも無ければYouTubeも無い時代ですから、1ケの玉が4ケになる方法や玉のカラーチェンジのやり方は全く分からず、力書房へ行き金沢天耕著の「四つ玉研究」を購入し、独学で研究を開始。そこで初めて石田天海



師の技法も知り、ダブル・シェルやパームのことも知り、玉のドロッパーやホルダーの知識も得ることができました。

私は翌1959年6月に13歳で第4回天洋アマチュア奇術大会に「タンバリン」で初舞台を踏みましたが、島田さんのような「8つ玉」で三越劇場に立ちたいと思うようになり、ボールとミリオンカードの練習を開始した時期でもありました。

この年の11月には、浅草にオープンした娯楽ビル「新世界」5階のマジックランドに島田さんが週末に出演していたので、毎週足を運び、8つ玉、ミリオンカード、ゾンビボールなどのスライハンド・マジックを何回も見て頭に叩き込み、自宅に帰っては思い出しながら繰り返し練習し、自分なりのルーティーンを作っていました。

島田さんはTVのCMにも出演するようになり、眩しい存在の人になっていました。

そして私は、初舞台から1年後の1960年7月、14歳で第5回天洋アマチュア奇術大会の第2部で念願の「四つ玉」を初演。そのうえ賞まで頂き、副賞の中華蒸籠（時価1万円相当）をゲットできました。



さらに第3部のプロの部では島田晴夫さんがステージに立っていますので、同じ舞台に出ることができ、とても感激し、興奮した1日でした。

その後の天洋大会には第7回大会まで毎年出演し、高校3年の夏は受験でお休みしたものの、大学2年（19歳）の1965年8月、第9回大会では「カードと鳩」を演じ、この時初めてベアハンドで両手鳩だしをステージで演じました。

実はこの大会の2か月ほど前になりますが、私は島田さんと9年ぶりにお会いし、しかもこの年の6月から3か月間、島田さんの助手をすることになり、キャバレーやナイトクラブ、米軍キャンプのステージに帯同しながら、時間があると当時テンヨーの社員であった加藤英夫さんと3人で、私が工夫・開発したベアハンド鳩だしギミックを使い、色々なアイデアを出し合いながらバリエーションを研究していました。

その時の記録動画 ⇒ <https://youtu.be/6HFaNV2MkAA>



当時の鳩だしは映画「ヨーロッパの夜」で見せたチャニング・ポロックのシルクを使って鳩を出現させるアクト <https://youtu.be/9H89Mik4Bg0> が主流で、シルクを使わず、いきなり鳩



が出現するアクト（＝ベアハンド）は見たことはなく、インパクトが強い画期的なアクトでした。（ジョニー・ハートがインコを使ってベアハンドで指先に出していましたが・・・

<https://www.youtube.com/watch?v=0tnlopTpbF8&t=74s>

手に止まった鳩が2羽に分裂、風船を割ると鳩が出現、ステッキの上に鳩が出現、リングの中に鳩が出現するなどのアイディアはこの時に生まれ、島田さんはそのアクトを翌日のショーに組み入れ、お客様の反応を確認し、さらに演技方に改良を加えながら、より良いパフォーマンスに仕上げていきました。この間は3ヶ月程度の短い期間ではありましたが、私にとっては憧れの島田さんと濃密な時間を共有でき、貴重な体験ができたわけですが、当時は島田さんが世界に名だたる伝説のマジシャンになることなど、予想もしませんでした。

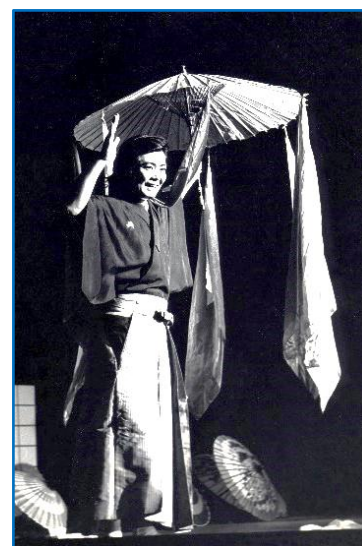
ほどなく1965年9月には島田さんは日本を離れ、単身オーストラリアに渡り、間もなく現地でディアナさんと結婚。そして二人はメキシコからヨーロッパ、東南アジア各国に向けマジック行脚の旅を続けることになりました。

いっぽう私は二本木光史氏とコンビを組み、1966年（大学2年）の5月から始まったフジTV「しろうと寄席」では5週勝ち進み、真打に昇進。そして6組の真打が競う真打大会では初代のチャンピオンとなり、名人位を獲得しました。

しろうと寄席 <https://youtu.be/i-nfTKD0k9Q>

その後、私は社会人になってから憧れの島田晴夫さんがいなくなった日本のマジック界に魅力は無くなり、1969年以降マジックとは縁のない生活を送っていました。

島田さんは1971年10月、ロスアンジェルスでのマジックショー「イツマジック」に出演しますが、そこで演じた「和傘のプロダクション」で一挙にマジック界にニュースター出現と騒がれたことは聞いておりました。その後アメリカ本土はもちろん、イギリス、フランス、ドイツなど、ヨーロッパ各地での公演が相次ぎ、日本へ帰国するタイミングは中々ありませんでした。





1975年、イッツマジックで初めて演じた「ドラゴンイリュージョン」が大好評で、島田晴夫の名声はマジック業界で不動のものとなり、日本への帰国する間もなく世界で活躍し続けていました。

1994年、FISM横浜大会を機に日本へ凱旋帰国した島田晴夫さんでしたが、その会場で25年ぶりに島田さんとの再会を果たした私は、再びマジックの世界に戻ってきました。

憧れの島田さんをリスペクトし、今まで以上に親密なお付き合いをするようになり、以後1/4世紀を超える期間、友好的な交流を深めていました。

悲しいかな本年4月30日（日本時間5月1日）、肝臓ガンで逝去されました。



10月17日（月）には夫人のキーリーさんが島田さんの遺骨を持って来日し、神田一ツ橋の如水会館で日本奇術協会主催による「偲ぶ会」が執り行われました。私も発起人の一人として企画段階から準備を進めておりましたが、当日は島田晴夫師の未公開映像も含め「奇術生活65年の歩み」と称して30分に及ぶメモリアル映像を編集・制作し、上映しました。この貴重な映像をTAMCの会員には一足早く例会の席でご覧に入れた次第です。

島田晴夫奇術生活65年の歩み⇒ <https://youtu.be/LNpVHJJUMIY>

### 追記：

偲ぶ会では110人ももの参列者の方々にお集まりいただき、献花のあと、在りし日の島田晴夫師の動画をご覧いただきました。



以上



◆「スライディニの復活する新聞紙」

講師： 氣賀 康夫 君

新聞紙を破いてバラバラにし、それを魔法のように元通りに復元するという奇術は古典的なテーマであり、これまでに数多くの方法が発表されている。我がTAMCでも故持永元会長が独創的な方法を提案したことがある。しかし、いろいろな方法を客観的に比較してみると、スライディニの方法ほど完成度が高いものは他に見当たらない。この方法は Lewis Ganson 著「The Magic of Slydini」(Harry Stanley 出版 1958 年頃)に解説されているが、Ganson がその前文に、これほど優れた方法は他に見当たらないと指摘している。誠にその通りと思う。

筆者は高木重朗氏の依頼でこの解説を全訳して JMA「奇術界報」268 号(1963.12.25)に掲載したことがある。以来、筆者もいろいろな手順を見る機会があったが、今日に至るまで、このスライディニの手順より優れた手順は一つとして見たことがない。

(土曜研修会テキスト前文より転載)

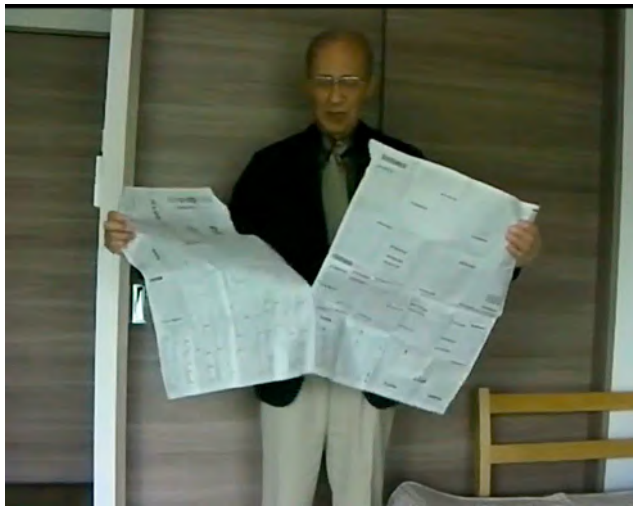
9月10日、電巧社ヘッドオフィス M-Theater において、9月の土曜研修会を開催いたしました。(会場の雰囲気は今号の表紙の写真参照)

当日はスライディニの著書と氣賀康夫氏の「奇術界報」の記事を元にして編集した詳細なテキストを参加者限定で配布し、タネの作り方から演技方法の細部に至るまで、懇切丁寧な講習が行われました。





Slydini 氏の実演動画上映



氣賀氏の実演動画上映



柏木の生実演



講習後に数名の会員が講習の成果を確認





古賀輝行さんと牧原俊幸さんが9月19日(月、祝日)にグランヴィ神楽坂(老人ホーム)(新宿区)の長寿記念の会に出演しました。

古賀さんは敬老の日に因むマジック等を演じました。

牧原さんはチャイニーズスティック、南京玉すだれ等を演じました。

およそ40名の利用者の方々と10名強のスタッフにマジックを堪能してもらいました。

新宿の社会福祉協議会からも出演に対する感謝のメールを受領しました。





## 編集後記

7月に Quebec で行われた FISM2022 のパーラーマジック部門で緒川集人氏が第一位を獲得されました。日本人としては初の快挙だということです（ただしアメリカ代表としての出場です）。

緒川さんは皆さんもご存知の通り、世界を股にかけて活躍中のプロマジシャンで、むしろゲスト出演や審査側の方という印象がありましたが、この度あえてコンテストとして出場され、見事に優勝されたことに私は心から感動いたしました。

お聞きすると、今回のコンテスト挑戦には COVID-19 のパンデミックが無関係ではなかったようです。自他ともにストレスや辛さを感じている状況で、パンデミックで全てが止まってしまったこの世界を動かすには、コンテストに挑戦することで自分に力を与えたい、またほかの人にも力を与えたいという思いがあったとのこと。

世界中が重苦しい空気につつまれたこの3年間でしたが、最近になって徐々に経済活動も再開の傾向にあり、マジックのイベントも復活しつつあります。

緒川さんの素晴らしい挑戦を拝見して、私も大きな勇気と希望をいただき、自分の身の丈にあった、ささやかな挑戦を続けたいと思います。

今回も会報作成にあたり、たくさんの貴重なお写真をご提供いただいた池内和彦会員にこの場をお借りして深謝いたします。



2020年10月吉日 文責；柏木直也

TAMC 会報 2022年10月号 記録・編集 柏木直也

## M9 ポケットに通うカード (Card to the Pocket)

<解説> Stars of Magic のシリーズの中に Francis Carlyle(1912-1975)の Homing Card と題する作品が収められている。筆者の恩師高木重朗師(1931-1991)はいち早くこのカーライルの解説を読んだが、その良さに気づかず、大した奇術ではないと思ったという。その後名士 Victor Sendax(1931-2019)が来日してこれを実演するのを観て、その良さに気付いたと告白された。筆者もこの奇術は読むよりも実演するとその良さが実感されると感じている。なお、「ポケットに通うカード」としては William H. McCaffrey(1899-1988)の作品が Greater Magic (1938)に解説されているが、Carlyle はこの作品を参考に Homing Card を構成したものと思われる。以下に説明する筆者の方法では、優れた種を使用する。そして、あとは palm 以外にこれという技法は用いない分かりやすい手順である。むしろ大切なのは実演の際の術者の芝居心なのである。

<現象> 観客が全く自由に選んだカードを当てるといふ難しい芸を演じ、更にそれを空中飛行させてご覧に入れると宣言する。同じカードの duplicate (代役)を使わないことを証明する目的で選んだカードには観客自身の手でサインをもらう。その状況で、選んだカードが不思議なことに術者のポケットに飛行する。そしてその現象を繰り返す。

### <用具>

1. 使うのは普通のカード一組である。裏模様は赤が好ましい。
2. なお、同じ裏模様のダブルバックカードを一枚使うのが賢明である。ダブルバックカードは市販もされているが、この手順では観客がそのカードに触る場面がないので、適当なカードの表同士をボンドなどで貼り付けただけの手製のダブルバックカードで十分である。
3. ホワイトボードマーカーを用意する。
4. 喫茶店などで配布している広告マッチを準備する。
5. この奇術に最適な種を自作する。それは通常用いられる技法に代わる巧妙な種である。通常のズボンのポケットはズボンの生地とは別の内袋を作ってそこに縫い付けた構造になっているので、内袋を手で無理に引き出すことができる。そこでポケットにカードを隠したままでこの内袋を引き出すという方法が考案された。それを Inner Pocket Concealment と呼ぶ。(写真1-2)しかし、この手法には油断するとカードがはみ出してきて露見してしまうという危険があり、万一そうなったら奇術は台無しである。そこで筆者が考えたのが、ズボンのポケットの内袋に見えるものを手作りしてそれをズボンの内ポケットの一番上の奥の位置に縫いつけておくというアイデアである。(写真3)この種を奥に押し込んで止めておき、検めのときそれを引き出してきて堂々とみせれば、ポケットのカードが出て来るリスクはなくなる。



写真1 McCaffrey の解説



写真2 Carlyle の写真



写真3 筆者の種

#### <準備>

1. ポケットの種はポケット上部の奥に押し込んでおき、ポケットの底にマッチケースを入れておく。
2. ダブルバックカードをお尻の右ポケットに入れておく。ダブルバックを用いる理由は、その向きを間違える心配がないからである。

#### <方法>

1. この奇術はテーブルに座って演ずるには適さない。そのような状況で演ずるのであれば違うハンドリングを開発する必要がある。ここでは小舞台（観客が10～50名くらい）で術者が立って演技する前提で考える。
2. 観客席から一人の男性を選び、舞台まで来ていただき、術者の右側に椅子を用意してそれに座ってもらう。ここからの演技はこの観客に見せつつ、同時に全観客に鑑賞していただく前提で行う。
3. カードケースを取り出し、観客に手渡し。そして話を始める。  
「よくマジシャンはカードを広げて、カード一枚選ばせて『カード当て』を演じますが、そのとき何か怪しい動作をする可能性があります。そこで、今日は私がカードに触れず、お客様自身でカードお取り扱いしていただくようにします。では、ケースからカードを取り出して、よく切り混ぜてください。そうしたらカードの表をご覧ください、好きなカードを選んでください。こうすれば私はそのカードを知る方法がありません。」
4. さらに続けて言う。「ところで、カードを飛行させる芸を演じますと、お客様の中には同じカードを2枚用意しているのだらうとお疑いの方があられます。そういう疑いがかからないように、今日はお選びのカードにサインをしていただきます。」そう言って、ホワイトボードマーカーを手渡し、選んだカードの表にサインかイニシャルを書き込んでもらう。その間術者は後ろを向いていなければならない。
5. 「それでは、そのカードを一組の中に戻して、よく切り混ぜてそれをカードケースに仕舞っていただきます。これで私はお客様がお選びのカードの名前を知ること、その位置を知ることがお分かりと思います。」という。
6. 以上が終わったら術者は前を向き、カードケースを受取り、左手に持つ。
7. 「それではこれから私のこのポケットを使います。」と言い、右手でズボンの右ポケットに上をポンポンと叩く。そして「ポケットを空にする必要がありますので、恐縮ですが、こ

のポケットに手を入れて、そこに何かがあれば取り出してください。」とお願いする。観客は術者の右ズボンポケットに手を入れて、そこにあるマッチを取り出す。

8. このとき、観客がポケットに手を入れやすいように、術者は右手で上着の右側をたくしあげる。そして、その手が邪魔にならないようにそれをお尻の方に回すが、その手をそっとお尻の右ポケットに入れてそこにあるダブルバックをそっとパームする。

9. そして観客がマッチを取り出したら、「それは広告マッチですので、お土産にお持ちください。」と言い、直ちに右手をズボンのポケットに入れ、その底にパームしていたカードを残し、同じ手で種の中袋を引き出してきてそれを全員に見えるようにしておいて、「このとおり、このポケットは空になりました。」と言う。(第1図)

10. 次に「それではまずお選びのカードを当てる芸をご覧に入れましょう。」と言う。

11. カードケースからカードを再び取り出して、ケースをポケットに入れ、持っている一組のカードの表を観客の方に向けて少し広げてから「お選びのカードは赤でしたね。」という。これに対して観客「そうだ!」と応じたら、「カードの色は魔法の力でわかるのです。」とうそぶく。一方、観客が「違う!」と言ったらどうするか。そのときは、「ああ、私の申し上げたのはカードの裏模様の話です。そうそう、お選びのカードの表は黒でしたね。」と応ずる。この部分はギャグである。

12. ここで術者はカードの表を術者の方に向けて、両手でそれを広げていく。するとサインをしたカードが見つかるだろう。



そうしたら、一組のカードを左手で裏向きに持ち、右手に観客のカードを持ち、その表を観客によく見せて「これがお選びのカードですね。いかがですか、見事に当たりましたね。」と言う。観客は「これならサインがあるからできるわけだ!」と大笑いするだろう。

13. さて、このとき右手は拇指と食指、中指で普通にカードを持っているが、薬指をカードの手前側に回し、その指と中指でカードの右角を挟んで外向きにグイと曲げてしまう。このカードを曲げる手法をクリンプと呼ぶ。(第2図) そうしたら、そのカードを左手の一組の真ん中辺りに差し込むが、直ちにカードをよく揃えて観客に手渡し、「ではこのカードをよく切りませてください。」という。

14. 観客がカードを切り混ぜ終わったら、もたもたしないで、その一組のカードを受取



り、左手に持つが、持つ手を緩めてカードの側面を見るとクリンプしたカードはその位置がすぐわかる。(第3図)ので、そのカードが一番上に来るように一組を無雑作にカットする。15. 次に、右手で一組のボトムカードを取り、カード投げの要領でそれを斜め左前方に投げる。カード投げはカードの左上隅を食指、中指で挟み、手首のスナップを使って放るのがコツである。(第4図) 上手に投げると遠くまでヘリコプターのように飛行するが、さらに巧妙に斜め上方向に投ざるとブーメランのように回転しつつ帰って来るようにすることもできる。しかし、ここではその技が問題ではないので、一旦投げたカードは拾って後で返して貰うので問題ない。

「いま、カードが飛行するところをご覧いただきましたが、今日はこういうカードが見える飛行方法ではなく、ステルス戦闘機のように目に見えにくい飛行をお目にかけてと思います。」という。

16. 「それでは、お客様のカードを飛行させます。よくご覧ください。」といい、「アブラ、カタブラ」とお呪いを掛けつつ、その言葉に合わせて、一組のカードの左下隅を下から上にバラバラと二回リフルする。(第5図) リフルが終わったら一組のトップカードを向こう方向に1cmほど押し出しておくことが大切である。

17. 右手が空であることをよく見せて、その手でズボン右ポケットの上をポンポンとたたき、その手をポケットに入れてそこにあるカードを引っ張り出して半分が見えるようにする。見えるのはダブルバックの裏である。(第6図)

18. そうしたら、一旦右手のカードをポケットに押し戻し、右手を左手の一組のカードの上に添える。そして、右手の指先でカードの向こう端を下に押しやると、梃子の原理でトップカードが右手の中に自然に飛び込んで来る。(第7図) これを右手に隠し持ち、その右手の食指を曲げて指先がトップカードの上に乗るようにする。(第8図) これがカードをパームしている右手が空に見えるための秘法である。

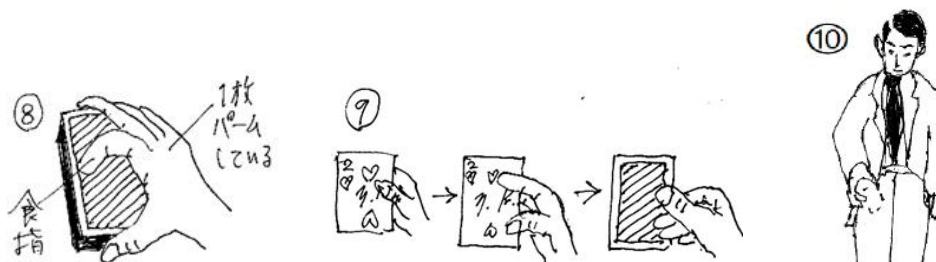


19. こうするとカードを右手だけで保持することができ、左手が自由になるので、その手をジェスチャーに使いながら、「カードがポケットに飛行しました。不思議ですね。」と言う。

20. ここで、右手で一組のカードを無雑作に左手に向かって放るようにして手渡し、それを左手で受け取る。間髪を入れず、カードをパームしている右手をポケットに入れて、そのカードを指先に持ち、ポケットから裏向きで出して来る。

21. そして、右手の指先でそのカードをクルリと返して、表が観客に見えるようにする。

(第9図)「お選びのカードは確かにこれですね。印がついています。」と言う。



22. 「なぜ一組の真ん中あたりにあったはずのこのカードがこのポケットに来たのでしょうか。」と言いつつ、「このカード……」でカードの裏面を示し、「このポケット……」というときカードを持った右手をポケットに入れて、そこで2枚のカードを密かに入れ替えて、すぐにその手をポケットから出して来る。手には裏向きのカードが見える。

23. ここで「お客様はカードが飛行するところを見落とされたようですので、アンコールにもう一度だけやってみよう。ただし、今度はお客様自身にお呪いを掛けていただくことにいたしましょう。」と言い、右手のカードを、左手の一組の真ん中に半分ほど差し込む。そうしたら、最後に観客の手で半分突き出しているカードを完全に一組の中に揃うように押し込んでもらう。このときの注意事項は、カードの表面(それも裏模様である)が観客の見られないように配慮することである。

24. ここまで来たら一組のカードを観客に持たせて、術者がやったようにカードを二回リフルしながら「アブラ、カタブラ」と唱えて貰う。

25. そこで一組のカードを受取って、上着のポケットにしまう。

26. そこで術者は両手が空であることをよく見せて、右手でズボンのポケットをポンポンと叩き、今度はズボンの外から右手で中のカードを掴んでみる。するとズボンを通して、カードの存在が見える。(第10図)

27. 観客に向かい、「では、お客様の手でポケットからカードを取り出してください。」とお願いする。

28. 観客は自分の手でカードを取り出す。そうしたら「みなさまにカードをよくご覧に入れてください。」と言う。

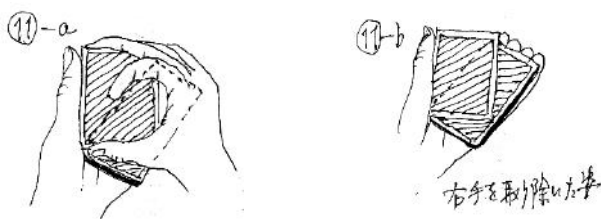
29. 「そのカードには印があるので、記念にお持ち帰りください。」という。カードが一枚減るが、それを持ちかえった観客は、機会があるごとにこのカードを他人に見せてこの体験を語るのだから、演者にとってはいい宣伝になるであろう。

30. 「ご協力のお礼に、マッチとカードだけでは申しわけありませんから、おみやげをもう一つ用意しました。」と言い、何かを用意して手渡すのも感じがいい。こういう時のおみやげは価値のあるものは好ましくなく、見ると思わず微笑んでしまうようなものがよい。筆者は不二家のペコちゃんなどをよく用いている。すると、ほのぼのしたエンディングになる。

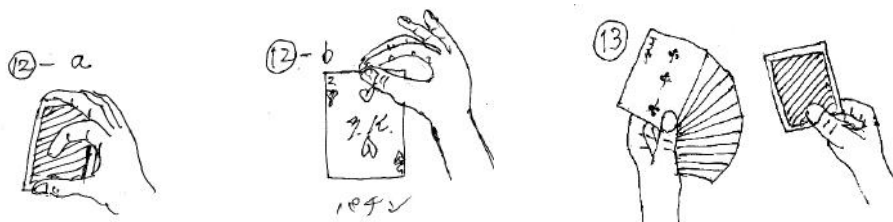
<追加的クライマックス>

この奇術の手順では、普通は「禁物」とされている同じ現象を2回繰り返すことによって全体の効果を倍化させている。したがって、この手順で内容は十分と考えるが、近年、さらに追加的クライマックスで度肝を抜く演技をしているマジシャンもあるので、その目的のための手法を追記しておこう。本論 28 項まで進行したら、以下のように演技を続ける。

- ① 左手に一組を持ち、右手で観客のカードを受取り、それを一組の真ん中辺りに差し込み、そのカードの真上にブレイクを作る。そこからダブルアンダーカットなどの手法で観客のカードがトップにコントロールされるようにする。
- ② 一組を両手で持つ。このとき右手の拇指をトップカードの左下に当て、食指をカードの上面にあてがい、中指、薬指、小指でカードの向こう端を覆うようにしてトップカード1枚を保持する。このとき一組は左手で持たれているが、その拇指をカードの左側にあてがったまま、中指で一組の二枚目以下を密かに45度近く時計方向に回転させてしまい、その全体を左手にパームするようにする。(第11図 a-b)



- ③ ここから、一組をパームした左手を時計方向にやや回転させつつ、右手はトップの1枚をあたかも一組のように保持したままでその上面を観客の方に向けつつ、左手をズボンの左ポケットに入れて、そこにカードを全部置き、一枚だけ手に取ってポケットから出して来る。そして、持っているカードの表を観客に示すがそれは観客のカードではない。
- ④ そこで首を傾げてみせ、手のカードを除外し、空の左手をポケットに入れて次のカードを指先に持ち、ポケットから出してくる。そしてその表を見せるが、それも観客のカードではない。ますます不満な表情をみせる。
- ⑤ 次々にカードをポケットから取り出すが所定のカードではないという演技を5回繰り返し、その都度、がっかりして不満な表情をする。
- ⑥ そうしたら、最後に左手でポケットのカード全部を持ってポケットから手を出して来てそれを扇状に広げる。
- ⑦ そして、右手のカードを弾いて見せる。(第12図 a-b) さらに、右手で手にしているカードの表を観客の方に向けてそれを示す。(第13図) 観客は意外な結末に驚くであろう。



- ⑧ 最後に観客にお土産を手渡して演技を終える。

## 新作「TAMC 水族館」解説書

2022. 10. 23

平素、TAMC の活動にご理解、ご支援をいただき厚くお礼申し上げます。このたび、お土産として「TAMC 水族館」を制作いたしました。ここに解説をお届け申しあげます。お楽しみいただければ幸いです。

**<用具>** 一枚の裏表印刷物になっております。表側は TAMC 水族館の展示内容、裏側は、TAMC が業務提携している我が国の有名な水族館の展示内容を表しています。

### **<演じ方>**

お客様に表（TAMC 水族館）を見せて、そこに描かれている 15 種類の展示動物類から好きなものを選んでその名前とイメージを頭に記憶してもらいます。次に紙を裏返し、提携水族館 4 か所の展示の中で、その動物がどの水族館に居るかを確かめて術者に言ってもらいます。術者はお客様が選んだ動物をピタリと当ててみせます。

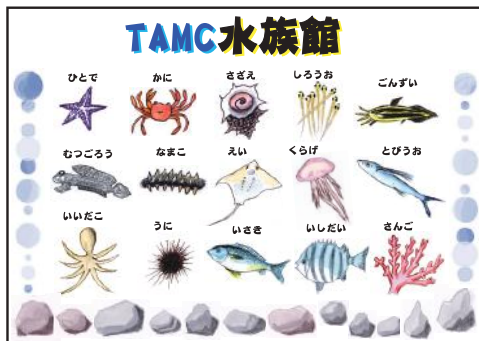
### **<解説>**

表面（TAMC 水族館）の動物は、一見ばらばらに見えますが、実は横に順番に 5 個ずつ 3 行で描かれております。左上から右に向かって 1、2、3、4、5、と並んでおり、次に二行目は左から 6、7、8、9、10、と並び、三行目 11、12、13、14、15、になっています。

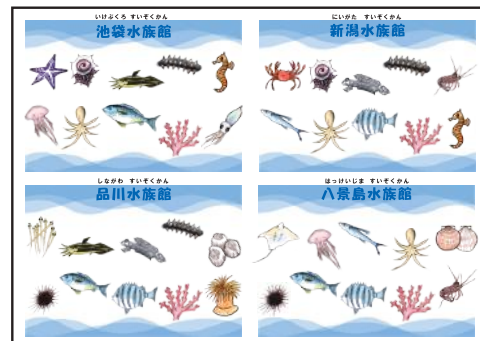
次に裏面には四つの水族館があり、それぞれ池袋を 1 番、新潟を 2 番、品川を 4 番、八景島を 8 番という数字（キーナンバー）に割り当てています。お客様が、「TAMC 水族館」からどれかひとつの動物を術者に内緒で選んだ後、術者は次に裏面を見せて、どこの水族館にいるかを教えて貰います。術者は水族館の名前を聞いたら、その水族館のキーナンバーを足し算して合計数字を算出します。もう一度、表面にして、その合計数字を左上から順に数えていき、その数字に当てはまる動物が、お客様が覚えた動物として当てることが出来ます。つまり、選ばれた動物が居る水族館名を聞くと、そのキーナンバーの合計で選ばれた動物がわかります。一例ですが、「新潟と品川に居る！」と言われたら、キーナンバーの  $2+4=6$  と暗算で計算し、6→「むつごろう」と答を出すのです。

**<原理>** 裏面の水族館ですが、1 番：いけぶくろ、2 番：にいがた、4 番：しながわ、8 番：はつけいじま、と番号を連想出来る様になっています。また、15 種類の動物の名前も、1 から 15 までの番号と語呂合わせになっていること（1=ひとで、2=かに、3=さざえ、4=しろうお、5=ごんずい、6=むつごろう、7=なまこ、8=えい、9=くらげ、10=とびうお、11=いいだこ、12=うに、13=いさき、14=いしだい、15=さんご）をご確認ください。この語呂合わせで、数字が確定したら、数えなくてもすぐ動物の名前が術者の頭に浮かぶように企画されているのです。

<表面>



<裏面>



\* 「TAMC 水族館」の著作権は、氣賀康夫及び TAMC（東京アマチュア・マジシャンズ・クラブ）が所有しております。許可なく複製や販売はご遠慮下さい。